

バスケットボール戦評記入用紙

大会 平成26年度 関東高等学校バスケットボール大会 埼玉県予選会  
 日時 平成 26 年 5 月 17 日 土 曜日 第 2 試合 Eコート 時刻 11:30  
 記入者名 中村 敬子

A チーム	得点		得点	B チーム
		$\left( \begin{array}{l} 23 - 16 \\ 11 - 17 \\ 24 - 21 \\ 26 - 16 \end{array} \right)$		
正智深谷 高校	84		70	埼玉栄 高校

<戦 評>

U-18全日本代表にも選ばれた#4を中心に、190cm台の選手を擁し大型化を図る正智と、192cmのエース#5をはじめとし、大型選手をそろえる埼玉栄の激しいリバウンド合戦が予想される。

- 1P 正智のスタートは#4, #7, #8, #9, #15。対する埼玉栄は#4, #5, #6, #9, #10。お互いにハーフコートのマンツーマンディフェンスでスタートする。埼玉栄は正智の厳しいディナイディフェンスに手こずり、思うようにオフェンスを組み立てることができない。苦しまぎれのシュートのリバウンドを正智に支配され、ゲームの流れは正智に傾く。埼玉栄もディフェンスでダブルチームを仕掛けるなどなんとか食いついていくが、23-16正智7点リードで終了。
- 2P 埼玉栄はディフェンスを3-2ゾーンに変える。上の3人でドライブに対するヘルプを強化し、正智の勢いを止める。オフェンスも#5, #10によるポスト&ポストのプレーや、正智のディナイに対するバックドアなどようやく攻撃にリズムが出てきて立て続けに得点。残り4分で26-26の同点に追いつきさらに残り2分で28-30と逆転に成功し、正智はたまたまタイムアウト。ここから正智は#4が奮闘し連続得点。34-33かろうじて正智1点リードで終了。
- 3P 埼玉栄は引き続きゾーンで守る。正智は#8が随所で3Pを決め、#7も長身を生かしリバウンドや、ポストプレーで頑張る。埼玉栄も#4, #9の3Pや、#5, #7がリバウンドを頑張り速攻につなげるなど一進一退の攻防が続く。58-54 正智リードで最終ピリオドへ。
- 4P 出だし埼玉栄の#10, #5によるポスト&ポストプレーのシュートがはずれ、そのリバウンドを正智が抑えたのをきっかけに正智は#6の3P、#4のジャンプシュートなど、開始1分で66-54と一気に攻勢をかける。また、正智は埼玉栄のゾーンにも慣れ奥の視野が広がり、ゴール下へのパスがうまくつながるようになる。#5, #6, #10の長身選手を中心に埼玉栄も最後まで粘るが、結局4ピリオド出だしの差を詰めることはできず、84-70で正智が勝利。決勝へ駒を進めた。